



特集  
市制施行70周年  
武蔵野市の  
これまでと  
これから

昭和22年11月3日、市制が施行され、人口約6万3千人の武蔵野市が誕生しました。インフラの整備だけでなく文化教育施設を重視し、さまざまな手法で市民の声を市政に取り入れようとする運営方針は、当初から変わらず受け継がれてきたものです。市制施行70周年を記念し、市民とともに築き上げてきた市の姿をもう一度見つめ、新たな未来について考えてみましょう。







# 吉祥寺 エリア

# 明日へと変わり 続けるまち

## 新宿以西最大級の商業都市へ

吉祥寺駅は戦後の復興直後から、人の混雑や渋滞、駐車・駐輪場不足などの課題を抱えていましたが、鉄道の高架化、駅前広場の開発、全国に先駆けた交通指導員制度など、さまざまな工夫で課題を乗り越え、発展してきました。



昭和後期から平成初期は、駐輪場の不足で行き場のない自転車が駅周辺を占拠しました。

# 中央 エリア

## 活発に変化するまちなみ

かつて中島飛行機製作所の通勤用に利用され、市の玄関口として発展した三鷹駅北口。市内の行政機関と多数の企業が集積し、公園も豊富です。近年はタワーマンションが建ち始め、今後もまちの変貌が続きそうです。



早くから市民参加によるまちづくりを重んじてきた武蔵野市は、時代と生活者の声に応じて変化してきました。



戦時中に空襲を受けた地域として、平和を祈った「世界連邦平和像」が昭和44年に建造されました。



閑散としていた三鷹駅北口（昭和32年頃）。





「21世紀に市民が求める公共施設」とするべく市民と検討を重ねて誕生した武蔵野ブレイズ。

## 武蔵境 エリア



高度成長期の利用者増加に伴い、昭和36年には南口階段が開設されました。

### 設計段階から市民と築き上げた空間

昭和36年の桜堤団地完成の後、昭和54年から平成26年まで開発が続いた武蔵境駅周辺。長期化したものの、住民・鉄道・行政間でじっくりと対話でき、バリアフリーで機能性に優れ、緑豊かな駅前空間を実現できました。



現在の市役所付近一帯は、戦後の昭和24年から昭和48年まで米軍の宿舎などでした。



かつてのグリーンパークの一部は、武蔵野中央公園として使われています。

## 市役所 周辺



昭和55年に完成した現庁舎。

### 戦争で塗り替えられた土地

中島飛行機の施設が広がっていた現・市役所の付近一帯は、戦後に米軍が接収。やがて土地が順次、日本に返還されると、グリーンパークという米軍の呼称は緑町となり、公共性の高い施設などが多数建設されました。



旧庁舎は、昭和4年に現在の市民文化会館付近に建設されました。





子どもを主役にして  
武蔵野市の力を引き出そう

—市制施行70周年を迎えた  
今、市民だからこそ感じる思  
いはありますか？

**尾木** 市内に住んで、もう20年近く。居心地が良いから長く住んでいるわけですが、市政に関しては「0123」をはじめ、以前はほかの自治体に先駆けた取り組みが多かったのに、やや安定期というか、成長スピードが落ちた気がします。もちろんほかの自治体が頑張っているということもありますけれど。応援する意味でも、あえてそこは言いたいと思います。

**山本** 私も「このまちに住みたい」と直感して20数年前から住んでいます。何がで  
きるはず！という潜在能力が、うまく機能していない歯がゆさを感じています。

**尾木** 僕の専門の教育分野で言えば、もっと子どもたちが主役になれるよう考えてもらいたいですね。子どもたちの能力は無限大で、どこまでも

尾木直樹さん×山本ふみこさん

特別対談

市民一人ひとりが  
主役になれる  
まちづくりを

まちが今後も力強く成長し発展するため  
今何ができるのか、武蔵野市在住の

「尾木ママ」こと教育評論家・尾木直樹先生と  
教育委員の山本ふみこさんに語っていただきました。



伸びますから。この『季刊むさしの』だって、子どもたちが作っても良いんじゃないかしら。大人が思いもつかないアイデアが出てくるかもしれないよ。

**山本** 確かに、教育現場に足を運ぶと、子どもたちがとても輝いています。授業でも体育祭でも、いろいろな個性が垣間見えます。今、未来の学校を考える時期に来ていると思うのですが、自由な発想で、開かれた教育へと意識を変えたい。大人が教えるというスタイルだけでなく、もっと個々の力、豊かな価値を引き出すことができないかなと思います。

**尾木** 今、日本の教育は島国的に閉鎖してしまっ、海外から心配されることがあるほど。そんな中でも武蔵野市にできることはあると思います。全国の先陣を切った取り組みをこれまでいくつもしてきたんです。グローバル化が進む中で必要な教育とは何か、広く豊かな目線で考えてもらいたいです。子どもが

主役になれることが大切で、たとえばオランダの一部の学校では、子どもたちは自分が勉強する内容は自分で選べます。子どもたちが参加して話し合い、教育を形づくっても良いと思います。

**山本** 現場を見て思うのは、もっと先生方に伸び伸びやってもらっても良いんじゃないかということです。少し遠慮されているように思えるので、もっと先生の自由によってもらい、それが良ければ、先生をいっぱい讃えたい。子どもはもちろん大人だってほめなくては。そうですね、失敗したら、教育委員である私が代わりに謝ります。そんな気持ちでいます。

### コミュニティのつながりを深められる取り組みを

— 教育分野以外の面ではないかがですか？

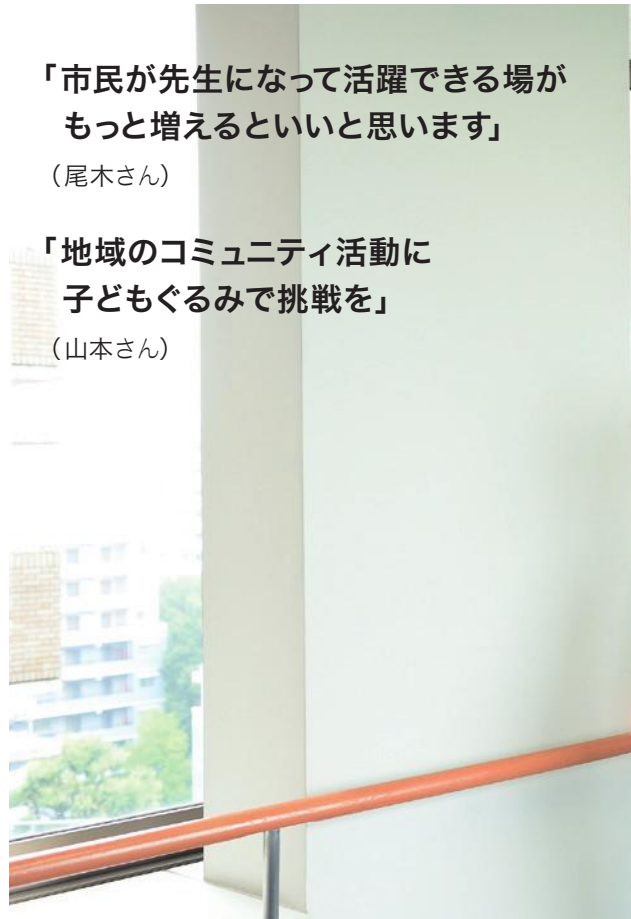
**尾木** さかのぼると武蔵野市は、江戸の大火で避難してきた人のために、今で言う仮設住宅を建ててつくられた、いわゆる救済都市というのが出

## 「市民が先生になって活躍できる場がもっと増えるといいと思います」

(尾木さん)

## 「地域のコミュニティ活動に子どもぐるみで挑戦を」

(山本さん)



### 山本ふみこさん

随筆家。武蔵野市教育委員。『朝ごはんからはじまる』（毎日新聞社）、『暮らしと台所の歳時記（PHP研究所）、『家のしごと』（ミシマ社）など著書多数。

### 尾木直樹さん

教育評論家。法政大学特任教授。中学校・高校・大学で合計44年間教壇に立つ。教育・子育て関連の著書多数。「尾木ママ」の愛称で多数のメディアやCMなどで活躍中。

発点ですよね。だからなか、ボランティア精神がまちに根付いているような気がします。高齢者施設にしても大きなものがどんとあるのではなく、普通の民家を利用したグループホームがあったりして、血の通った温かみがありますよね。

**山本** 地域性というのは本当に大切ですよ。これなくしてまちは育っていかないと思います。

**尾木** いろいろなところで「武蔵野市は住みやすいところよ」って宣伝していますけ

れど、14万人を超える人口がありながら、まちの人同士のつながりが残っているってすごいことだと思えますよ。中道通りを歩けば、オルゴール屋さんがあったり、革細工の店やさまざまな専門店があって、そこで「いらっしやい」「ありがとう」から始まって、

会話が生まれる。互いを知り合うことができる雰囲気があるまちに住む安心感たるや、とても大きいですね。

**山本** 武蔵野市はたくさんイベントがあるところですよ。もっと地域の活動の機会

をつくって子どもぐるみのコミュニティで運営できたら良いと思います。それから、今の大人は失敗を避けようとする傾向が強いような気がしているんですけど、失敗しながら何かを学んだり見つけたりにすることで価値を感じます。いろいろなチャレンジしたいですね。

**尾木** 市民全員が先生となつて、みんなが参加できるようにすることを考えていこう、まち全体が生き生きと活力を帯びてくると思います。先ほど話した中道通りにある専門店が働く人はもちろんですけど、会社員だってそれぞれが何かしらの仕事のプロ。子どもたちも部活をしていたり知識を蓄えているのでみんなが先生になることができます。先生になることは伝統的に市民の力を生かすスピリットがあるんですから、市民が主体となれる施設を増やすなどして、市民が活躍できる場をもっとつくって、今以上に勢いのあるまちをつくってほしいですね。





まちの魅力を再発見

むすしの

# 散歩マップ

まちはいつも少しずつ変わっています。

あなたをよく知る通りでも、

今日は知らない一面が

見つかるかもしれません。

たまには1〜2時間の散歩で

身近なまちを見直してみませんか。

よく知っている  
まちなのに  
じっくり歩くと  
再発見！



※長時間歩くときは水などを携帯し、こまめに水分を補給してください。  
※施設を利用・見学する場合は、あらかじめ開館時間や入場方法を確認してください。

## 緑の中で リラックスしたい

多数の公園と緑道を通過し、自然とまちの調和を感じながら散歩を楽しめる三鷹コースがオススメ。

豊かな自然と  
学びの道

## まちの雰囲気を楽しみたい

公園や美術館を巡りながら、活気ある商店街と閑静な住宅地を抜ける吉祥寺コースがオススメ。

芸術と文化に  
ふれる

## 地域の歴史を感じたい

各地に残る上水道や旧河川の痕跡を追いながら、市内の歴史をたどる武蔵境コースがオススメ。

地域と水の  
歴史をたどる



散歩で身体もまちも元気に

よく歩くことは健康な身体づくりの基本です。たまには、身近なまちの中を、ゆっくり散歩してみませんか。よく知っているはずの場所でも、いつの間にかお店が替わっていたり、道がきれいになっていたり。じっくり散歩すると、新しい発見が見つかるかもしれません。

今回は市内の3駅を出発点に、それぞれの特徴あるコースを紹介します。活気があって変化に富む場所から、静かで歴史を感じさせる場所まで、武蔵野市の多様な顔を楽しんでください。

市内には、皆さんの豊かな市民活動やコミュニティ活動によって生まれ、あるいは改善されてきた施設や設備がたくさんあります。

お店や住宅の変化、公園や歩道の気持ち良さ。あったらいいな、の発見。そんな皆さんの気づきの積み重ねが、まちの姿をこれからも変えていく力になるはずですよ。





- ① 七井橋通り
- ② 井の頭自然文化園
- ③ 吉祥寺西公園
- ④ 成蹊学園の並木道
- ⑤ 演家住宅西洋館
- ⑥ 市民農園と野菜直売所
- ⑦ 武蔵野八幡宮
- ⑧ 吉祥寺美術館
- ⑨ 吉祥寺シアター
- ⑩ はな子像

## コース1 芸術と文化にふれる 吉祥寺コース(約6.6km)

大きな公園と商店街の活気が共存する吉祥寺エリアには、わくわくする楽しい見所がたくさん。閑静な北町エリアまでくると回って、まちのさまざまな表情と文化にふれてみましょう。



井の頭自然文化園は動物だけでなく彫刻も見応えがあります



駅から井の頭公園に続く七井橋通りは、オシャレなお店がいっぱい！



吉祥寺駅の公園口からスタート！



吉祥寺美術館で芸術を楽しもう！



とれたて野菜がおいしそう

農作物の直売所を発見



国の登録有形文化財になった演家の西洋館



駅前のはな子像で記念撮影

このまちを見守り続けてくれるシンボルですね

吉祥寺シアターはイベントや公演が盛りだくさん。散歩する前にチェックしておきましょう

吉祥寺美術館から今度は吉祥寺シアターへ。美術と舞台芸術をこんなに近所で楽しめるのってすてきかも

ala Collectionシリーズ vol.10  
「坂の上の家」11月3日～10日に公演

③ 買い物エリアの近くで気軽に休憩するなら吉祥寺西公園。じつは防災倉庫や雨水貯留槽など防災設備も充実しています。

④ 北町エリアの散歩で定番といえるのが成蹊学園のケヤキ並木。四季折々の表情が楽しめます。

⑦ パワースポットとも噂される武蔵野八幡宮を参拝。昭和3年には、7～8世紀頃のものとされる藤手刀が出土しています。



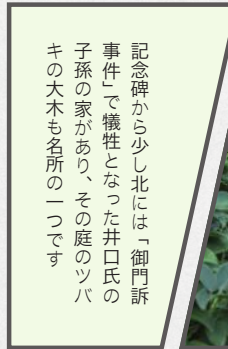


- ① 世界連邦平和像
- ② 野鳥の森公園
- ③ 西久保公園
- ④ 関前公園
- ⑤ 御門訴事件記念碑
- ⑥ グリーンパーク遊歩道
- ⑦ 武蔵野中央公園
- ⑧ NTT技術史料館
- ⑨ クリーンセンター
- ⑩ 市民文化会館

## コース2

# 豊かな自然と学びの道 三鷹コース(約6.4km)

戦前の中島飛行機武蔵製作所の跡地などを中心に広がる公園や緑道を歩いていきましょう。植物の色彩や鳥の声などから季節の変化を全身で感じつつ、まちの暮らしを学べる施設もあり、いつでも楽しめる散歩道です。



③ 西久保公園は、遊具がなく広々と自由に遊べるのが特徴。毎年1月にはどんど焼きの行事も。

④ 関前公園は夏になると水場で遊ぶことができ、子どもたちでにぎわいます。

⑩ 市民の声に応え、より利用しやすくリニューアルした市民文化会館。まだ新しい館内を見ている方はぜひ足を運んでみてください。





### コース3

## 地域と水の歴史をたどる 武蔵境コース(約7.7km)

昔は豊かな水とともに畑が広がっていた武蔵境エリアならではの、水と歴史をたどる散歩道です。道中やその付近には、かつての水道が小さい脇道として随所に残っています。地域の変化を感じてみてください。

- ① 武蔵野プレイス
- ② 杵築大社
- ③ 国木田独歩記念碑
- ④ 境山野緑地
- ⑤ 玉川上水の碑
- ⑥ 小金井公園
- ⑦ 古瀬公園
- ⑧ 仙川リメイク
- ⑨ 武蔵野ふるさと歴史館
- ⑩ ころくや

富士塚は、富士山にのぼると健康になるという江戸時代の民間信仰によって作られた人工塚です。



①市民のさまざまな声を取り入れて、平成23年に開設した武蔵野プレイスは、図書館などが入った人気スポットです。

④別名「独歩の森」。コナラやクヌギの雑木林を保全し、一帯の昔の風景を肌で感じられる場所です。

⑥武蔵野市・小金井市・小平市・西東京市にまたがる、都内でも最大規模の大きな都立公園です。





# 市制施行70周年の記念事業とイベントにぜひご参加ください

## 企画展「TARGET No.357 ～攻撃目標となった町、武蔵野」

10月14日(土)～12月28日(木) [金曜・祝日 休館]

武蔵野ふるさと歴史館の開館以来、平成27年度から2年にわたり開催してきた企画展「戦争と武蔵野」および「戦争と武蔵野2」を踏まえ、これまで調査・収集を行ってきた米国国立公文書館の中島飛行機関連の資料と、戦争関係資料を展示します。

[会場] 武蔵野ふるさと歴史館  
[問い合わせ] 同館 ☎0422(53)1811



「Damage Assessment Report No.195」米国国立公文書館原蔵 ▶

## 健康まつり

11月3日(金・祝)

保健センター開設30周年を迎えるにあたり、地域に開かれた保健センターとして、健康に関するさまざまな要素を取り入れた記念事業を開催します。子どもから高齢者の方まで楽しめる30以上の催しや展示を行います。

[会場] 保健センター  
[問い合わせ] 健康課 ☎0422(51)0700



## 歴史館講座「ヒコーキ工場跡地で とぼそう! 紙ヒコーキ」

10月29日(日) 午前9時30分～午後0時30分

大きな原っぱが広がり「紙飛行機の聖地」ともいわれる武蔵野中央公園で、かつて同じ場所にあった飛行機工場と武蔵野市の歴史を学びながら、紙飛行機を作って飛ばしましょう。参加には事前申込みが必要です(10月17日まで)。

[会場] 武蔵野中央公園  
[問い合わせ] 武蔵野ふるさと歴史館  
☎0422(53)1811



## ▼次のようなイベントを開催

産前・産後ヨガ	ヨガで心も体もリフレッシュしましょう。
ベビーマッサージ with プレママ	ベビーマッサージで親子のスキンシップ。妊婦も赤ちゃん人形を使って参加できます。
人形劇と小さな音楽会(生演奏)	テレビでも活躍する「人形劇・木くづの木」が上演します。
むさしの野菜市場	市内の農家による新鮮野菜の直売会です。
身体測定コーナー	脳年齢測定や歩行測定などお気軽にどうぞ。
各種健康相談	内科医・歯科医・薬剤師が相談に応じます。

※各イベントの開催時刻や参加条件、そのほかのイベントなど、詳しくは市報10月15日号をご覧ください。

## 平和の集い

11月23日(木・祝) 午前10時30分～11時

昭和19年の11月24日に武蔵野市は初めて空襲を受け、以降終戦までに合計9回の空襲で多くの犠牲者を出しました。市では11月24日を「武蔵野市平和の日」とし、前日23日に平和への願いを込めたイベントを行います。

[会場] 市立公園はらっぱむさしの  
[問い合わせ] 市民活動推進課  
☎0422(60)1829

平和の集いでのパルーンリリースの様子





## 歴史公文書からみる 市制施行周年行事

10月21日(土)～11月3日(金・祝) [水曜 休館]

武蔵野ふるさと歴史館所蔵の歴史公文書を中心に、武蔵野プレイスの「地域映像アーカイブ」の映像資料なども用いて、これまでの市制施行周年記念行事を振り返る展示を行います。

【会場】武蔵野プレイス ギャラリー  
【問い合わせ】武蔵野ふるさと歴史館 ☎0422 (53) 1811

「武蔵野体操」を収めたソノシート



## うつりゆく人と風景

―所蔵作品と写真から振り返る武蔵野市の70年―

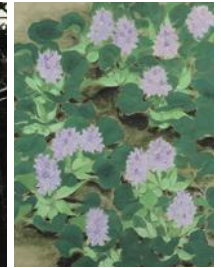
10月28日(土)～11月5日(日) [1日(水) 休館]

市が70年にわたり記録してきた写真と、市所蔵の美術作品を一堂に展示。写真と美術作品から、市制施行以来の歩みと変貌を振り返ります。

【会場】市民文化会館 展示室  
【問い合わせ】秘書広報課 ☎0422 (60) 1804、  
吉祥寺美術館 ☎0422 (22) 0385



第2回「ミス井の頭」による  
オープンカーパレード (1954年)



小島鼎子『布袋草』  
(1962年)

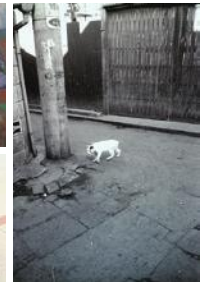
## 見えた風景、見える風景

11月11日(土)～12月24日(日)

[29日(水) 休館]

市制施行70周年と井の頭恩賜公園開園100周年を記念し、市を拠点に活動した芸術家たちの紹介と、吉祥寺今昔写真館委員会所蔵の貴重な写真を展示します。会期中は講演会やギャラリートークも行われます。

【会場】吉祥寺美術館  
【問い合わせ】吉祥寺美術館  
☎0422 (22) 0385



[左] 織田一磨『井ノ頭の池』(1931年)、[中央上] 山喜多二郎太『秋』(1962年)、  
[中央下] 野田九浦『船仕事』(1941年)、[右] 『1964年のハモニカ横丁』(提供：幡野弘)

## 皆さんの声が、次の10年間に形作ります

武蔵野市は、市民会議やワークショップ、シンポジウムなどさまざまな手法で市民からの幅広い意見を求めて市政運営をしています。また、昭和46年に始まった「第一期基本構想・長期計画」以来、市民の市政参加を重視した「長期計画」の策定も行ってきました。市民・議員・職員の積極的参加を促して計画を策定、実施する市政運営の仕組みは、他の自治体からも注目を

集め「武蔵野市方式」と呼ばれています。

現在の市の姿は、市民の皆さんと築き上げてきたものと言えます。来年度からは、2020年から始まる第六期長期計画に向けて、その内容について、市民参加による議論が始まります。次の80周年がいつそう誇れる武蔵野市となるために、今後も長期計画の策定をはじめ市政の動きに、ぜひ皆さんの声をお寄せください。